

東洋町議会だより

発行：高知県東洋町議会 ☎(0887)29-3398 発行人：議長 西岡尚宏 編集：広報編集委員会 印刷：米崎印刷株式会社



「3/9 DMV第1号車両・お披露目イベント」阿佐東線穴喰駅

※DMV（デュアル・モード・ビーグル）線路と道路を走行できる車両

第145号

2019年(令和元年)6月1日発行

議会だよりは、スマートフォンからも
ご覧いただけるようになりました。

東洋町議会  で検索！

主な内容

平成31年第1回定例会／第1回臨時会	
平成31年度一般会計当初予算	P2
町長行政報告	P6
こんなことを決めました	P7
一般質問	P8
各議員の出務状況	P14
議会の動き	P15
湖南市議会・津野町議会訪問	P16

31年度 一般会計予算 **30億9016万円**

防災減災対策関連予算 対前年度比50.7%UP

野根地区防災避難施設工事関連 2億1940万円 + 繰越予算
木造住宅耐震関連 1億3200万円



昭和6年建設架橋

野根川橋橋梁補修工事費
5000万円
(5カ年計画)



新体験!

白浜海水浴場海上遊具
オープニングイベント費 **100万円**



定着! 真冬の観光スポット

イルミフェスタ~光の白浜~
200万円



生活環境の改善

水道
特会

川口地区取水施設工事費
4500万円



2020年導入に向けて

DMV導入促進事業費
7300万円



日本アマチュア最高峰! 8/18~24
全日本サーフィン選手権大会補助金
200万円



甲浦灯台購入
思い出の場所
174万円

平成31年度 全会計予算総額

会計名	平成31年度	平成30年度	比較	伸率	
一般会計	30億9106万円	29億6116万円	1億2990万円	4.4%	
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	2億8896万円	3億6万円	▲1110万円	-3.7%
	国民健康保険事業	5億2703万円	5億23万円	2680万円	5.4%
	介護保険事業	5億8483万円	5億9290万円	▲807万円	-1.4%
	介護サービス事業	1415万円	1483万円	▲68万円	-4.6%
	下水道事業	1億8476万円	1億7493万円	983万円	5.6%
	簡易水道事業	1億6197万円	1億2691万円	3506万円	27.6%
	観光施設事業	6341万円	6508万円	▲167万円	-2.6%
	後期高齢者医療保険事業	4488万円	4425万円	63万円	1.4%
総額	49億6105万円	47億8034万円	1億8071万円	3.8%	

※表中の金額は1万円未満を四捨五入しているため、各会計予算額の合計と総額は合致しない。

そのほか注目の31年度新規&継続事業

<p>新たな地域振興を期待!</p> <p>野根川再生計画費 2000万円</p>	<p>早期完成を目指せ!</p> <p>池・相間地区集会所外構工事費 800万円</p>	<p>地震に耐える!</p> <p>甲浦線林道橋 橋梁補修及び耐震補強設計費 1200万円</p>
<p>児童・生徒の熱中症対策 学校空調設備設置工事費 3800万円</p>	<p>炊事場・トイレを整備 川口地区体験施設整備工事関連 1200万円</p>	<p>南海トラフ地震津波への備え 津波避難マップ作成費 50万円</p>

31年度当初予算 集中質疑と議会人討論

※主な質疑・答弁のみ掲載

一般会計

○ 社会資本整備総合補助金(耐震改修事業) 1685万1千円について、前年度繰越分を合わせた事業量を聞く。

○ 31年度は耐震30戸分、ブロック塀10戸分で、繰越分を含め1億3000万円規模となる。

○ 弁護士費用30万円の説明を求める。

○ 訴訟1件分に対応するためである。

○ 白浜地区複合施設建設設計委託料2千万円について、建設に向けての住民の意見は取り入れられているか。

○ 集落活動センターの整備に向けて、何度も協議を



集落活動センター建設予定地の白浜地区集会所

重ね、生産販売活動や福祉活動などを取り入れる計画である。

○ 在宅介護手当1344万円の説明を求める。

○ 体調の悪い方や認知症の方を介護する方へ月額4万円を支給する。

○ 不妊治療費等助成事業医療費44万1千円の助成内容。

○ 通院費、通院に伴う宿

泊費、保険適用外の費用などの一部を助成している。

○ 有害鳥獣駆除対策捕獲報償金602万8千円について、有害鳥獣は減少しているのか。

○ シカが増加傾向にある。

○ 駐車場交通整理委託料119万4千円の増額理由は、警備員の見積単価が上がり、10日間のGWに対応するため増額となった。



GWに観光客で賑わう白浜キャンプ場

○ 大道星線道路越波対策工事設計業務委託料400万円の場所は。

○ 旧吉岡石油の裏側で、高波により砂が上がるため堤防を整備する。



台風の影響で越波する

○ 家屋調査委託料1442万円の説明を求める。

○ 野根地区防災避難施設建設にあたり、建設前に近隣の家屋を調査し、建設後に損害がないか確認するためである。

○ 教員賃貸住宅補助金109万8千円の説明を求める。

○ 教員住宅が満室の場合、教員住宅相当の家賃となる

よう助成している。

議会人討論

(反対討論: 田島毅三夫 議員)

NPOへの野根川再生計画委託料は、31年度から3年間、国及び町から6千万円が交付されるが領収の開示も拒否する。避難者支援プラン事業臨時職員賃金歳出は、1人で避難できない68人に、2人付けば136人必要だが、その確保も困難の上、名簿の開示もない。血税の浪費であり反対する。

(賛成討論: 福島登 議員)

31年度一般会計では、厳しい予算の中で、用地取得した野根地区防災避難施設の建設やブロック塀、木造住宅耐震化に予算を重点配分し、子育て世帯や在宅介護支援を継続、学校空調設備施設など、住民に直接関わる事業を重視する予算であるから賛成する。

特別会計

住宅新築資金等貸付

○ 競売手数料60万円の収入分は歳入予算のどこへ計上されるのか。

○ 収入があれば、過年度滞納償還金へ入る。

国民健康保険

○ 葬祭費40万円の説明を求める。

○ 1名に付き4万円で、10名分である。

介護保険

○ 介護予防支援委託費54万円の説明を求める。

○ 海陽町や室戸市の事業所へ委託し、ケアマネージャーによる要支援者の生活支援を行っている。

介護サービス

○ ホームヘルプサービス事業収入624万円の説明を求める。

○ 利用料の9割を国保連合会が負担し、利用者負担金は1割である。

下水道

○ 修繕料200万円の増額理由は。

○ 老朽化で修繕箇所が増え、前年度より100万円増額している。

簡易水道

○ 飲料水供給施設整備事業補助金3202万1千円の整備箇所、施工方法は。

○ 川口、真砂瀬、相間地区で井戸を設置し、水中ポンプで汲み上げ供給する。

観光施設

○ 生見駐車場使用料の利用状況は。

○ 年々減少傾向にあり、昨年は台風来襲が多かったことも原因と考えている。

後期高齢者医療保険

質疑なし。



予算審査特別委員会

出産、子育てや在宅で介護する世帯のみなさんへ

児童用ヘルメット支給	小学校就学時に、自転車用ヘルメットを支給する。	総務課 ☎29-3111
チャイルドシート購入助成金	購入金額の1/2を補助する。(上限1万5千円)	
妊婦検診通院費補助	通院に要する交通費を支給する。(往復200km以内・14回限度)	
出産日前後の宿泊費補助	1泊7千円以内を補助する。(2泊を限度)	
不妊治療費等助成事業	夫婦どちらでも治療費、交通費、宿泊費の一部を助成する。(回数制限・上限金額あり)	住民課 ☎29-3394
出産奨励金	第1子20万円、第2子30万円、第3子以降50万円を支給する。	
乳幼児・生徒医療助成金	中学卒業の3月末までの医療費を助成する。	
保育料無料	町内保育所の保育料を免除し、実質無料とする。	
在宅介護手当	体調の悪い方や認知症の方を介護する方へ月額4万円を支給する。	
児童・生徒・学生等入学支援事業	小中高校進学時に10万円、大学・専門学校等進学時に20万円支給する。	教育委員会 ☎29-3037
ふるさと創生育英資金貸付金	大学生や専門学校生の進学時に、80万円を上限に無利子で貸付け、卒業後1年据え置いて10年以内に償還する。	
学校給食費補助金(甲浦・野根小中学校)	小中学生の給食費の8割を補助する。	

※助成や支援を受けるための要件や対象となる経費がありますので、詳しくは、各課へお気軽にご連絡ください。

第1回定例会◇3月議会◇

町長行政報告 (要旨)



松延 宏幸 町長

サーフィン選手権大会の開催が決定しており、交流人口の拡充に取組んで参りたいと考えております。

国土交通省は、3月1日、31年度予算に向け、全国19路線を新規事業化候補箇所として公表し、その中に、海部道路のうち海陽町多良から東洋町野根間14・3kmが直轄事業として新規事業化候補箇所となっております。

阿南安芸自動車道

一般会計当初予算

31年度は、地方財政の根幹である地方交付税総額を前年度から0.2兆円増の16・2兆円としており、7年ぶりに増額決定となっております。

抑制しつつ、単独事業として、子育て世帯への支援策や在宅介護手当などを継続し、学校の空調設備設置などの補助対象外経費3800万円を予算計上しております。

住宅新築資金等貸付会計

30年度予算では、やっと3億円を切り2億9500万円、31年度予算では2億8090万円まで圧縮しており、長期間、町財政を圧迫してきた貸付金回収と整理には、自力執行権のない債権ですので、裁判所を通じて地道に滞納債権の縮減強化を図らなくてはなりません。

このため、本年度も厳しい予算編成となり、基金からの繰入金3億2700万円を計上し、一般会計予算総額は、対前年度比4.4%増の30億9106万円としております。

2月10日、室戸世界ジオパークセンターで行われたスタートイベント



県知事への意見聴取、第三者委員会での評価結果をとりまとめ、国会での予算審議を経て事業計画決定される見込みで、その進展に大いに期待を寄せております。2月7日には、奈半利から安芸間のルート案が、国土交通省四国整備局において決定されております。

リョーマの休日

自然&体験キャンペーン

県は、自然を活かした体験型観光として、新たにリョーマの休日、自然&体験キャンペーンをスタートし、2月10日に室戸世界ジオパークセンターで、スタートイベントが開催されました。本町では、8月に全日本

こんなことを決めました!

条例改正

駐車場設置及び管理条例 主に、生見地区へ新たな駐車場を整備することにより、第5駐車場として条例に追記する。

災害弔慰金支給等条例

主に、災害支援金の措置期間経過後の利率については、延滞の場合を除き3%から1%に引き下げる。

職員の勤務時間、休暇等条例

主に、職員の超過勤務命令(残業)に上限時間を定め、月45時間以下、年360時間以下とする。

議案質疑

問 1日の上限時間はないのか。

答 超過勤務命令の月の上限は、原則45時間以内を規定しており、1日についての規定はない。

問 月45時間を超過した場合はどうなるのか。

答 原則、年間360時間以下に収まれば問題ない。

問 職員組合とは協議したのか。

答 事前協議は行っていないが、労働環境の改善に繋がるので、職員組合も理解いただけると考えている。

人事

固定資産評価審査委員会委員

田邊康生 氏 任期 平成31年3月19日から平成34年3月18日(3年間)

懲罰動議(継続審査)

本会議中、田島毅三夫議員は地方自治法や議会会議規則に抵触する行為があったとして、小松熙議員ほか6名の連名で懲罰動議が提出され、懲罰特別委員会を設置し、閉会中の継続審査として、次回定例会で審査結果報告をもとに懲罰を科すか否かを審議する。

30年度補正予算

一般会計(第4号)

主に、施設等整備基金への積立金、障害福祉サービス費、プレミアム付商品券発行準備経費、甲浦2号幹線と向中村線法面対策工事委託費、河川海岸(野根海岸)浸食対策事業県負担金などを計上。

特別会計

介護保険事業(第2号)

主に、施設介護・介護予防サービス給付費、高額介護サービス費などを計上。

下水道事業(第2号)

下水道マンホール形式ポンプ場の操作設備と計装設備の更新工事を翌年度へ繰り越すための予算を計上。

観光施設事業(第3号)

海の駅東洋町の食堂の賄い材料費を計上。

平成30年度 補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	4947万円	32億6044万円
特別会計	介護保険事業	1360万円
	観光施設事業	310万円
		6億1463万円
		7001万円

30年 第1回臨時会

契約

東洋町白浜海水浴場海上遊具購入契約の締結 1080万円(税込) 契約先 U.S. PARK(有)

中町集会所の移転

新しい集会所を設置する考えはないか。

松延 宏幸 町長

集落活動センターの建設を検討している。



平山 照生 議員

格好になっている。当集会所を利用している主に中町の方々だが、建設当初は、まだまだ若く体力もあつたが、現在では、お年寄りの仲間入りをされた方が多くなつており、階段を二階まで上り降りすることもかなりの負担となる者も増えしてきた。

中町地区の集会所は、1988年に当時の甲浦農協新設と同時に、その二階部分を集会所として使用する目的で設置されたもので築31年が経過している。

町は、この集会所を利用されている方々が、このような状態であること把握しているのか。

建築当時は、いろいろな事情があつたと思うが、当地区の集会所は他の地区では見られない民間事業者の建物に間借りした

この建物は、二階の部分が集会所ということも



J A 高知県東洋支所の2階に中町集会所がある

あり、議員指摘のとおり、利用しづらい状況というの理解している。

最近、年齢にあつ

た体力づくり、体操で健康を保ち、健全な体づくりが盛んになっている。

この集会所を利用するには、体力的に限界にき

ており、利用するのに不便を感じている。

このような中、町は当

集会所を移転して、利便性の良い、気兼ねのない

新しい集会所を設置する考えはないか。

農協合併の話もあり、事務室が不要になるのではないかなということもあつたが、その時は、町が買い取りたいとも考えていたが、現事務所を継続するとの決定となつたようである。

現時点で、二階の集会所を、今、直ちに移転新設ということは、今のところ考えていない。台風時などには、避難施設として利用している実態もある。

町長 これまでも、高齢者にも適切な場所として、用地が確保できるのであれば、新設も考えたいというようなことを地区長に理解を求めてきた経緯もある。

また、現施設の建設時は昭和63年ということ、津波や地震などが話題にもならない時代であつたが、現在は、その点も考慮していく必要がある。

道路標識とDMVの運用

道路標識が日本語版しかない。

大坪 靖幸 総務課長

多言語化標識の設置を検討したい。



小松 熙 議員

道路標識に変える予定はあるのか。

総務課長 現在の道路標識を外国人にも対応した標識に変える予定があるかとの質問であるが、町道に数箇所、甲浦駅の案内看板を設置している。

今後、外国人観光客が目につくような多言語化標識の設置を検討したい。

DMVは、鉄道から

道路に降りて走ることになり、意義があると思うが、道路へ降りてからの走行経路は決まっているのか。決まっていらないのなら、今後、東洋町として走行経路に参画できるのか。

DMVもいよいよ1号車両ができたと思うが、来年より阿佐東線に、世界最初のDMVが走行する予定である。世界各国から見学に訪れる人々が多数本町に来ると思うが、阿佐東線に限っては、道路標識が日本語版しかない。来年に向け、他の観光地のように、各国表示の

DMVのバスモード走行経路は、DMV導入協議会の幹事会で協議を重ねている。来年の運行開始時には、確実な運行を優先したうえで、のルートを決める必要があることから、JRやバス事業者などのダイヤ調整等を含め、協議に時間を割いている状況である。

将来的な運行ルートも含め、住民のニーズをふまえながら経路の設定を検討したい。

南部バスが国道を中心に運行している。DMVが町内旧道路を走れば、町民の交通手段の確保に役立つのではないかと、その考えはないか。

総務課長 ルート案については、旧国道も通るような計画案も出ている。



DMV第1号車両が完成

「未来への波乗り」をテーマに、太平洋の波、サーフィン、伊勢えび駅長をデザインに取り込んでいる。

空き家を取壊した跡地

空き屋を取壊した跡地の整地の補助は

蛭子浩久 住民課長

除却工事に含めたものは補助対象となる。



武山 裕一 議員

たす者に限るが、上限100万円まで補助するものがある。取壊した跡地の整地に対する補助は、除却工事に含めたものは補助対象となるが、一旦事業が完了したのちに、整地のみを行うものは補助の対象とはならない。

空地を整理した跡地の補助はあるのか。出るとしたら、それはどの程度なのか。

住民課長 本町では、老朽住宅除却工事に要する経費を補助する事業がある。

これは、東洋町老朽住宅除却事業費補助金交付要綱に規定する要件を満

ように依頼したかによるものだと考えている。

整地をしていないところに対して、何か対策はあるのか。

この場合は、整地をしていないために、雑草などが生え放題になっており、害虫や不法投棄の箇所になっている。夏になると害虫などが湧いてきたり、出てきたり、臭いがしたりと近隣住民が困っている。生活の支障になっているので、そのための何か対策はあるか。

住民課長 今の事業では、

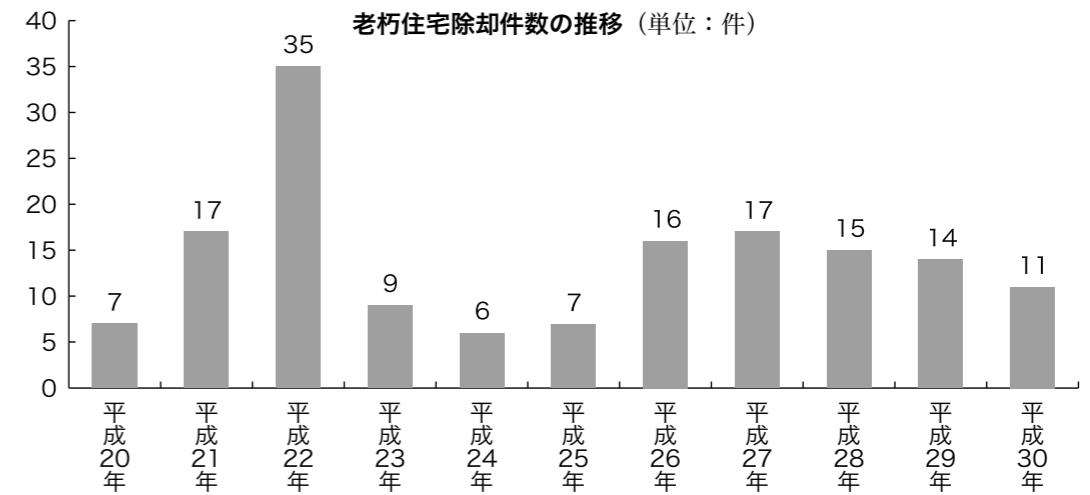
整地のみに対する補助はないので、まずは、土地の所有者が整地できる業者に依頼されるのが良いのではないかと考えている。このように、放棄地というか、草がかなり生えているようなところはありますが、個人の財産でもあ

り、除却事業のような国の補助制度とかを使っている事業では、特に問題は少ないかと思うが、町単独の事業としては、慎重に検討をしていかなければならないと考えている。

法的に手を出しづらいところもあると思うが、例えば、所有者の方に役場などが連絡をとっていただき、近隣住民が困っているというようにこの連絡は取れないのか。

住民課長 そのような事例は、今までもたくさんあり、放棄地に対する対応は、土地の所有者に対して、町の方から環境の整備をお願いし、すというよう通知を随時行っている。

このように、放棄地というか、草がかなり生えているようなところはありますが、個人の財産でもあ



東洋町老朽住宅除却事業費補助金
 町内にある危険で老朽化した住宅の取り壊しに対して補助金を交付します。
対象者: 取り壊す住宅の所有者、もしくは、相続人 **補助金額:** 取り壊し工事費の80% (上限100万円)
お問い合わせ: 住民課 ☎29-3394

甲浦未来会の公園管理状態

公益施設に値するものなのか。

松延宏幸 町長

公益施設として適当と判断している。



福島 登 議員

甲浦港港湾施設の野積場の一部を甲浦未来会が公園として無料で使用している件について聞く。30年第2回定例会で執行部は、甲浦未来会提出の管理計画書には、春から夏にかけて2回除草を行い、秋から冬にかけて、公園内の石や残材の撤去を行うと答弁しているが計画通りの管理が行われ

ような状態で公益施設に値するものなのか。

産業建設課長補佐 甲浦未来会には、維持、管理ができるか確認し、今後の許可については検討したい。

免除された使用料は、

産業建設課長補佐 年間

31万3千630円である。

(福島 登議員)

許可の取消、原状回復罰則について説明する。甲浦港港湾施設の管理及び利用条例には、許可の取消等については、「1. 許可の申請書に虚偽の記載があったとき」、「2. その条例に定める占用または使用についての規定

たは使用についての規定

原状回復については、「港湾施設の占用期間の満了、占用の廃止、または、占用の許可の取消しがあったときは、直ちに、原状に回復しなければならない」と定めている。罰則については、「港湾施設の占用期間の満了、占用の廃止または占用の許可の取消しがあったときは、直ちに、原状に回復しなければならない。この規定に違反した者は、2千円以下の過料を科すことができる。ただし、詐偽、その他の不正手段によって、占用料または

または許可の条例に違反したとき」、「3. 占有者または使用者が関係職員等の指示に従わないとき」には、許可を取り消すことができる」と定めている。この公園は、公園の体をなしておらず、管理計画も遂行しない、職員等の指示にも従わない、この規定に値するものではないか。

使用料の徴収を免れた者に対しては、その徴収を免れた額の5倍に相当する金額以下の過料を科すことができる。」と規定されている。適正に申請し、適正に使用料を納めている利用者との公平性を考えれば、未だ使用目的及び管理計画も遂行しない、職員等の指示にも従わない現状を重く捉え、許可の取り消しを行ったうえで、原状に回復しないようであれば、この罰則に規定する過料を科す必要があるのではないか。

町長 使用料の免除を続けているが、管理が現状のままであれば、公益施設として適当と判断しづらい。他の使用者同様に使用料をいただくのか、許可しないのか、あるいは、原状回復していただくのか検討したい。



一般質問前日の3月7日の公園の状況

一次産業への支援策

当初予算には計上されていない。

松延 宏幸 町長

可能であれば6月補正で計上したい。



高島 俊彦 議員

30年9月定例会で、農業や漁業に対する支援策として、商工持続発展支援事業費補助金のような補助金事業の創設を求めたところ、31年度の予算編成時期までには判断するとの答弁であったが、31年度の当初予算には計上されていない。検討した結果と思うが、その理由を聞く。

町長 確かに、当初予算までに検討したいと答弁している。
31年度の予算編成時では、地方交付税は増額見込みを予想していたが、実際は前年度より0.8%の減額試算となっているため、本年度も財源確保に厳しい予算編成となった。また、防災減災対策を優先しなければならぬ実情や学校の空調施設整備にも多額の単独経費が見込まれている。

このような財政事情から30年度予算の執行状況決算見込み、基金取崩しの執行額などを勘案して、予算確保が可能であれば6月補正で計上したい。

甲浦灯台の活用方法

購入後の活用方法は。

築地 仲音 総務課長補佐

観光地としても利用できるようにしたい。

購入後の活用方法を聞く。

総務課長補佐 見晴らしの良い場所となるよう整備するようにしたい。

新学習指導要領への支援

学校や教職員への支援は。

川田 真由美 教育長

先進校研修や研究主任会を実施する。

先日、甲浦小を訪問した際に、来年度から学習方法が大きく変わることを聞いた。
2020年度からの学習指導要領の改定に伴い、児童の自発的な発言スタイルへと変わり、教員がほとんどしゃべらずに、児童を中心に授業が行われると聞いたが、学校や教職員への支援を聞く。



甲浦小への学校訪問

教育長 小学校は2020年度、中学校では2021年度から新学習指導要領が全面実施となり、現在は、それぞれ移行期間中である。
これからのAI、人工知能の時代に求められる力をつけるために、文部科学省が唱える主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うため、これまでのような教員の説明が多く、子どもが受動的になりがちな授業から子ども同士の話や思考、表現活動を取入れた能動的な授業への転換を図るため、県、教育委員会、東部教育事務所、各地教委が協力、連携して、指定校や推進校での先進校研修や研究主任会を実施するなど、全面実施に向けた支援を行っている。

判決の判断と解釈の一部を紹介すると「東洋町の姿勢として、安易かつ、無制限な支援を行うことはできず、野根漁協による傲慢経営を許さない強い意志を表明したということは読み取れるとしても、将来におけるあらゆる公金の支出についても、直ちに、違法ならしめる法的拘束力を持つたものと理解することができない。本件補助金等の内容を見ると、まさに、漁業の近代化及び流通改善による農業経営の安定と漁民の生活水準の向上を図ることを目的としているということができ、公益上必要がある補助金に該当することは明らかであり、それ自体許される支出であることは明白であり、本件公約の存在を考慮しても違法性を基礎づけることはできない」という判断が示されている。

れている。

野根漁協貸付金の未返還の行政責任を問う

松延 宏幸 町長

徴収の怠りに該当し、責任は町長にある。



田島 毅三夫 議員

平成23年、野根漁協に貸し付けた1千万円は、6年間の期限を約1年過ぎた平成31年3月において、まだ返還はされていない。

町長は、議会でも、返し、返還がないときは、漁協に備品の一つも買わない、今後一切の支援は行わない、それでも返還のない場合は訴訟を

町長 督促・催告書を送っており、協議もしてきました。徴収の怠りには該当しない。
田島議員原告の野根漁協修繕費支出損害賠償訴訟は、本年2月に棄却さ

起こす」と答弁し、漁協も、「そのときには、一切の支援は受けたい」と確約した。
しかし、返還がなく、督促状・催告書を出しても返答もないのに、返還請求訴訟の検討すら行わず、次々と補助を行っていき、自治法242条1項の徴収の怠りに該当し、責任は町長にある。今後どうするか。

町長 督促・催告書を送っており、協議もしてきました。徴収の怠りには該当しない。
田島議員原告の野根漁協修繕費支出損害賠償訴訟は、本年2月に棄却さ

裁判では、「状況の変化にに応じた支援は、議会確約があっても違法とまではいえない」と判決があった。
しかし、これでは、議会公約は無駄であり意味がなくなる。住民血税を支出する町長発言には重い責任がある。

特に、貸付金の滞納状況の中では住民納得は無い。町長の道義的責任の放棄を問う。

町長 放棄にはあたらな

30年6月28日、漁協から「返済は、町と協議し誠意をもって解決していく。漁協が貸付者に返還交渉中は、町は、補助や支援を行う」という確

認書が交わされ、本年度や来年度予算に、約1千万円の補助金が計上され

た。しかし、確認書には、

「交渉期間」との期限や「返済が無い場合の対応」規程はない。期間限定のない確約は、ごまかしではないか。
期日を切って返済を求め、もし、誠実な対応がない場合、町長答弁のとおり、返還訴訟の検討を求めるがどうか。

町長 最高裁の判決が出て、漁協側はその債務の効力を否定し続けたが、やっと債務を認める確約書に押印したことで一歩前進したと感ずる。

訴訟中は、支援も控えてきたが、野根漁協は単独漁協であり、社会情勢や漁業事業者の減少など経営が危惧される中、一定の理解が必要と考えている。

甲浦漁協との行政執行上のバランスも必要であり、今後、事業展開も見定めることが必要である。債権放棄にはあたら

ず、償還協議を継続していく。

町長 関連した裁判が決着し、償還の本格的協議に入るが、野根漁協は、国の事業を導入して懸命に取り組み、一単独の状況であり、今は事業展開を見定めることが必要である。債権放棄にはあたら

議会の動き

1月

3日 成人式

5日 消防出初式

2月

4日 商工会懇談会

5日 郡町村議会議長会臨時総会

12日 県町村議会議長会理事会 (高知市)

21日 県町村議会議長会第70回定期総会 (高知市)

25日 県町村長・町村議会議長大会 (高知市)

天皇陛下御座位30年記念式典 (高知市)

3月

1日 議会運営委員会

2日 室戸市制施行60周年記念式典 (室戸市)

5日 31年第1回定例会 (3月議会) 1日目

8日 議会運営委員会

11日 第1回懲罰特別委員会

19日 町立中学校卒業式

20日 町立小学校卒業式

26日 31年第1回ごめん・なはり線活性化協議会総会 (安芸市)

27日 町立保育園卒園式

29日 第3回懲罰特別委員会

私たちの出務状況を公表します！

平成30年12月から平成31年2月までの会議や研修会への出欠状況

○：出席 ×：欠席 /：対象外

議員名	議長	副議長	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
	西岡尚宏	福島登	平山照生	高島俊彦	小松熙	武山裕一	小野正路	今宮裕明	田島毅三夫
12/ 4 議会運営委員会	/	○	○	○	/	/	○	○	/
12/ 4 議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/ 6 平成30年第4回定例会 (12月議会) 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/11 平成30年第4回定例会 (12月議会) 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12/17 広報編集委員会	×	○	○	/	×	/	/	○	/
1/16 広報編集委員会	○	○	○	/	×	/	/	○	/
1/18 湖南市議会産業経済常任委員会視察研修	○	○	○	○	○	○	×	○	/
1/24 津野町議会視察研修	○	○	○	○	○	×	×	○	/
1/29 議会運営委員会	/	○	○	○	/	/	○	○	/
1/29 平成31年第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1/29 議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2/19 学校訪問 (甲浦小学校)	○	○	○	○	○	×	○	○	/
2/28 議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ここでは、本会議、委員会、研修会、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

議会をぜひ傍聴してください！

IP告知端末で議会放送をしていますが、議場には**15席の傍聴席**を設けています。定例会は、途中からでも短時間でも傍聴することが可能です。ぜひ、役場2階の議場へお越しください。 **前回傍聴者数：11名**



次回：令和元年第2回定例会 (6月)
 ※IP告知端末4chで生中継しています。

田島毅三夫議員への除名処分は県知事審決により取消されました。

本町議会から除名処分を受け議員失職した田島毅三夫議員は、2月21日、県知事の審決により処分が取り消され、同議員の議員資格は、失職した平成30年6月15日にさかのぼって回復しました。

審決結果によれば「本件処分の直接の根拠となった行為や過去の行為を考慮しても、懲罰事由に該当する行為は、いずれも、法令等への違反の程度は、大きいものではないことから、除名処分とするのは、相当でないものと考えられる」とのことでありました。

意見書

採択

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税 (仮称) で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める意見書

提出者 小松 熙 議員

採択

家族従業者の人権保障と女性の活躍を促進するために所得税法第56条の廃止を求める意見書

提出者 平山 照生 議員
 提出先 内閣総理大臣他、大臣

編集後記

新元号「令和」、その意味を首相は「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいとの願いを込め決定した。」と語った。

平成時代は、阪神淡路や東日本など、自然の脅威を目の当たりにする大災害が発生した。議員も微力だが、西日本豪雨災害時には、広島県へ支援に駆けつけ、被災地支援の難しさと重要性を肌で感じ、それをできる限り続けることが、我々が災害に遭遇した時の備えにもつながると思った。

防災を含め、地域の課題山積の中でも「令和」に込められた思いのように、住民の思いが叶う町づくりを進めていくには、将来に希望を持つことが大事だ。東洋町には、まだまだ花を大きく咲かせる希望がある。

広報編集委員長 福島 登

湖南市議会産業経済常任委員会 行政視察

昨年、「湖南市・室戸市・東洋町による観光交流に関する協定書」の締結を受けて、1月18日、滋賀県湖南市議会の産業経済常任委員会（菅沼利紀 委員長）9名が本町の観光施策についての行政視察に訪れた。

福島登副議長から本町の観光施設や観光資源を紹介したのちに意見交換を行い、その後、ポンカン販売所や生見サーフィンビーチを見学するなど両市町の観光交流についての意義を深めた。

津野町議会 行政視察

1月24日、津野町議会（大崎公孝 議長）11名が本町の福祉施策や産業振興についての行政視察に本町を訪れた。

役場住民課の松山奈央子保健師から子育て応援教室「なないろ広場」について、高知県地域支援企画員の嶋崎麻紀東洋町担当からは地域アクションプランの取組みについての講義を受け、両町議会議員による意見交換を行ったのちに、土佐備長炭製造工場を見学した。



海部郡安芸郡

町村議長・副議長研修会

2月5日、役場大ホールにおいて、海部郡・安芸郡議長連合会（会長 岩垣實男 北川村議会議長）主催の研修会を開催し、各町村議会議長・副議長をはじめ県議会議員・国会議員秘書など35名が参加した。

講師には、国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所の土肥学所長を招き、「最近の四国道路行政の話題について」と題した講演では、特に四国東南部の四国8の字ネットワークなどの自動車道の整備状況を中心に学び、今後の要望活動に生かすことを確認した。



DMV第1号車両 お披露目イベント

表紙の
関連記事

3月9日、阿佐海岸鉄道穴喰駅において、DMV第1号車両のお披露目イベントが開催され、飯泉嘉門徳島県知事や三浦茂貴海陽町長らによる除幕式が行われ姿を現した新DMV第1号車両を間近で見ようと大勢の観客が囲んだ。

DMV車両は3台製作する予定で、2020年の「世界初」の導入に向けて駅ホームや線路の改修にも着手している。

